

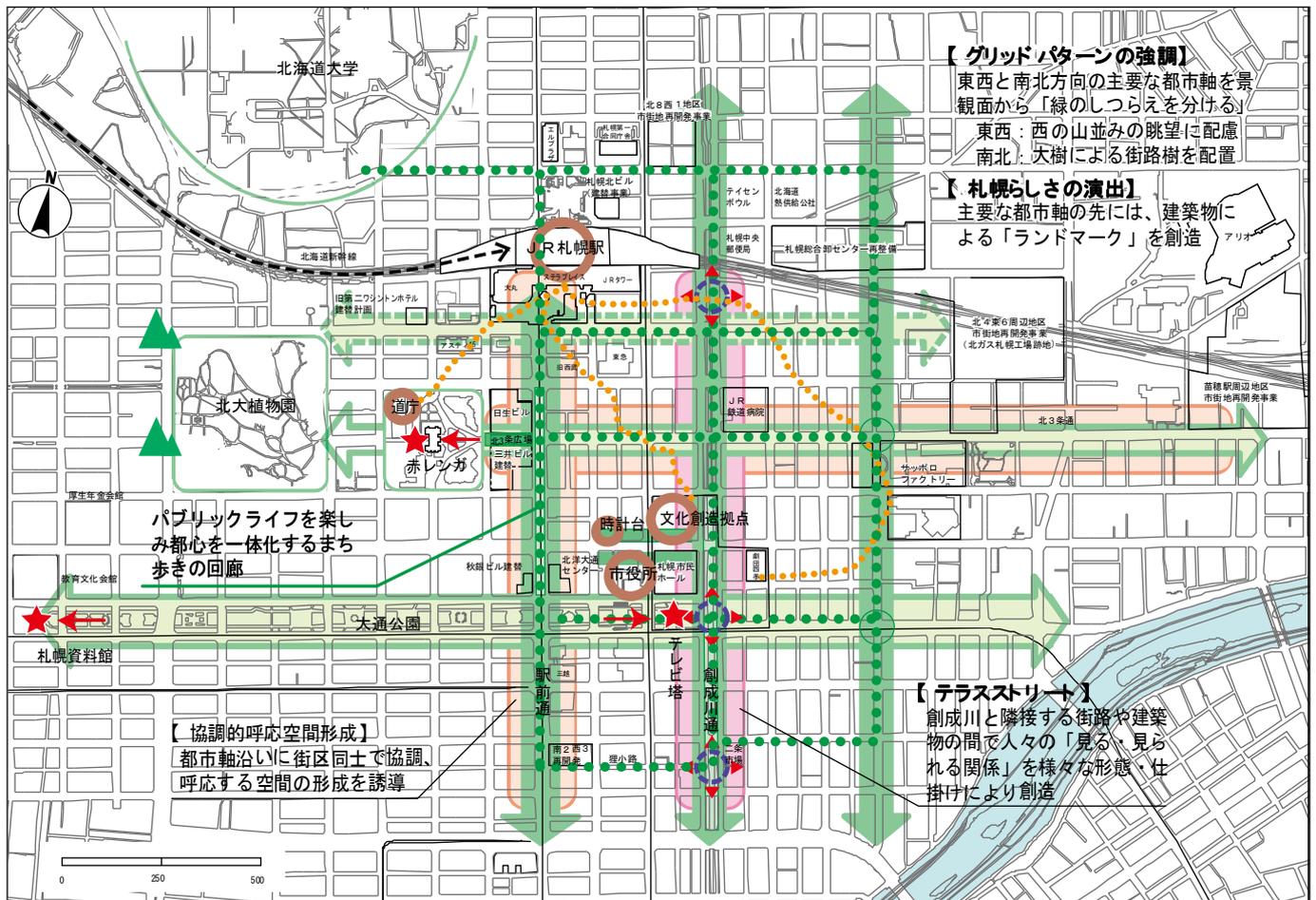
④ テラスストリート

創成川と隣接する街路や建築物の間で人々の「見る・見られる関係」を様々な形態・仕掛けにより創造する。

(中長期的な取り組み)

- ・水辺空間が復活した創成川通は、人々がたたずみ、あるいは各種アートイベントなどを楽しむ、札幌都心の新たなパブリックライフを演出する空間である。ここでは、例えば将来の創成川以東地区の開発を展望して、札幌駅と創成川以東地区を連結する2階レベルのデッキの整備を図り、「創成川を見る、見通す広場空間を確保」し、直接創成川に降りられるような環境を形成する。
- ・また、創成川に面している北5西1街区の東側は、「四季折々の変化や創成川でたたずむ人々、また、イベント時の見る・見られる関係をつくる」ため、カフェ・レストラン、展望デッキなどを配置する。

図 パブリックライフの展開に向けた考え方



Ⅲ－３ 街区再整備の基本的考え方

1) 基本認識

札幌駅交流拠点構成する主な街区としては、JR札幌駅および南北駅前広場のほか、5・2街区（商業施設・宿泊施設・バスターミナル等）および5・1街区（青空駐車場）、北5条通を挟んで4・3街区（商業・業務施設等）がある。

これらのうち、札幌駅南口駅前広場のタクシープールは変則交差点として整備したため、タクシー専用の信号現示を設けており、北5条手稲通の青時間比が低いという課題を有している。また、5・2街区においては、駅施設建築物の正面性の欠如といった課題や、新耐震基準施行以前の建物であるバスターミナルの耐震性に課題があるとされている。

一方、4・3街区においては、街区の一体的な再編に向けた地元の検討会が開催された経緯がある。

2) 基本方針

札幌駅交流拠点の再整備にあたっては、北海道新幹線や路面電車の延伸、都心アクセスの強化といった今後予想される交通環境の変化に対応しつつ、交通結節機能の充実、交流拠点にふさわしい新たな機能の導入、札幌らしい優れた都市景観・都市環境の形成、パブリックライフの起点としての交流空間の充実等を踏まえ、街区の再整備、再編を図ることが求められている。

このため、交通と土地利用の一体的な整備を図るため、将来の街区再整備の方針を次のように設定する。

- ① 5・2街区と5・1街区の一体的な再整備
- ② 5・2街区再整備にあわせた南口駅前広場の再整備
- ③ 5・2街区、5・1街区と連動した周辺街区の再整備

これらの再整備にあたっては、現在動きのある北8西1再開発や札幌卸センター再整備、また北5東1地区など将来の創成川以東地区の開発等との機能連携や歩行者ネットワーク等を確保していく。

さらに、札幌駅南口エネルギーセンターや既存エネルギーインフラの有効活用のほか、「CASBEE札幌」への対応など、「環境首都・札幌」の実現に向けた取り組みを推進する。

3) 具体的な取り組みイメージ

① 5・2街区と5・1街区の一体的な再整備

② 5・2街区再整備にあわせた南口駅前広場の再整備

(短期的な取り組み)

- ・ 5・2街区と5・1街区の一体的な整備に向けて、関係者間での協議や手法の整理などの検討を進める。

(中長期的な取り組み)

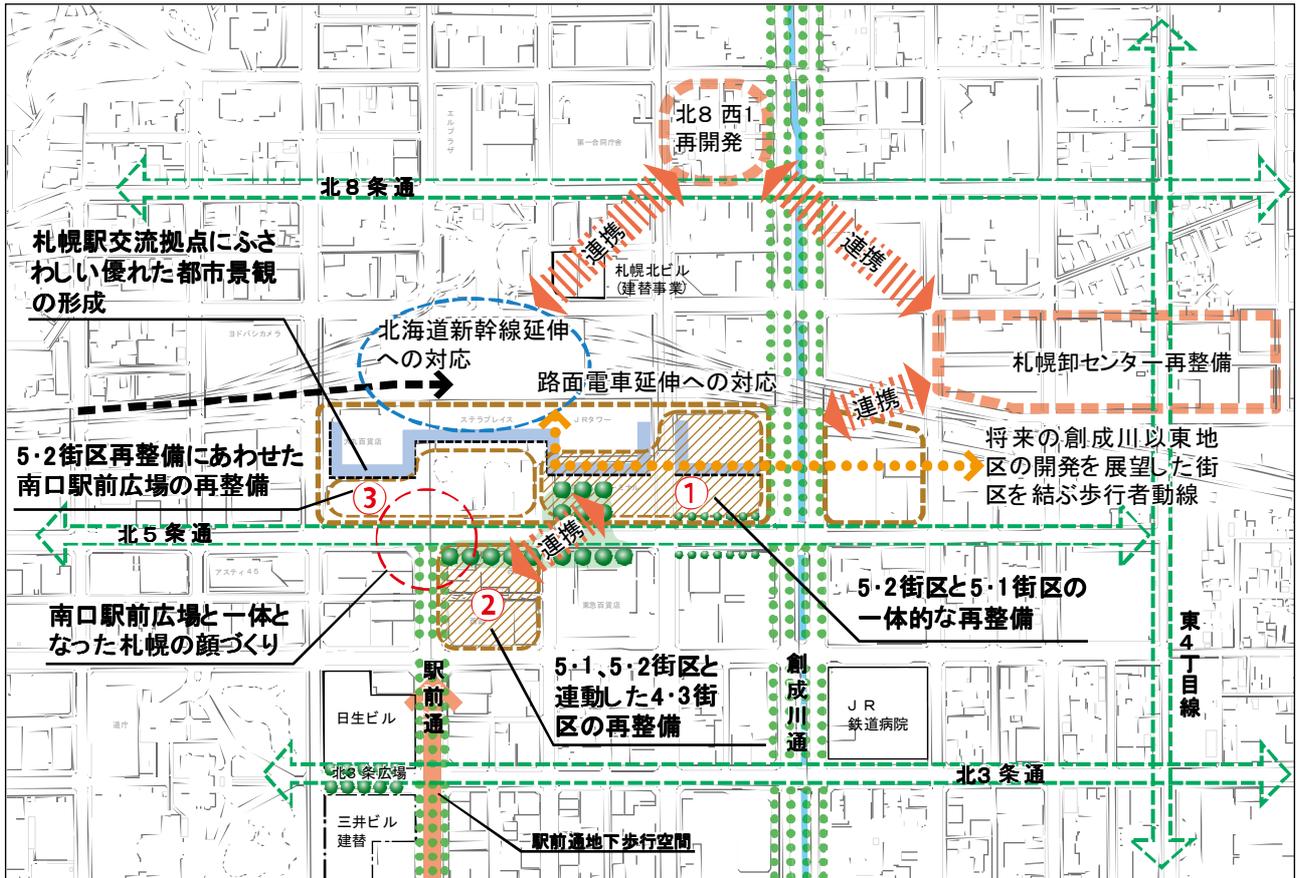
- ・ 5・2街区と5・1街区の一体的な整備により、札幌駅交流拠点にふさわしい高次都市機能および新たな機能の導入と駅施設建築物の正面性の向上を図る。
- ・ あわせて、機能的な交通施設の再配置に取り組むとともに、南口駅前広場の変則タクシープールの解消と北海道らしさを感じる緑豊かな駅前広場空間の創造を図る。

③ 5・2街区、5・1街区と連動した周辺街区の再整備

(短期的な取り組み)

- ・ 札幌駅南口駅前広場に呼応した新たな駅前の顔づくりとして、4・3街区ほか周辺街区の再開発に向けた検討を進め、札幌駅交流拠点にふさわしい高次都市機能や新たな機能の導入を図る。

図 札幌駅交流拠点における街区再整備の考え方



次年度の検討項目

IV. 実現化に向けた基本的考え方

IV－1 事業展開プログラム

- ・事業展開方針（事業方針図、事業プログラム図）

IV－2 札幌駅交流拠点におけるエリアマネジメント

- ・エリアマネジメントの方針（マネジメント事項、組織体制、スケジュール など）
- ・エリアマネジメントを担いつつ事業を推進するための組織の構成や体制づくりの方針、連鎖波及的な事業展開方針などの提示

V. 今後に向けて

- ・事業手法、事業費、費用負担の考え方、スケジュール、新幹線・電車対応・・・